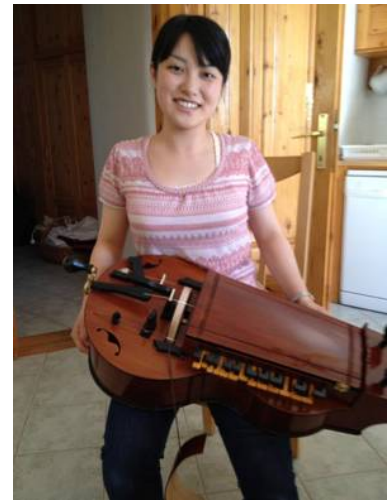


三峯 千寿佳さん

東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程、
音楽専攻 4 年在学中



編) 今回約 1 カ月間ハンガリーにいらしゃった目的はなんですか。

三) 卒業論文のテーマにしたテケルーの調査にきました。
レッスンを受れたり、資料を集めるのが目的です。

編) レッスンを受けているという事は、実際にテケルーを購入したということですか。

三) そうですね。触った事もなかった楽器だったのですが、やってみたく思っていた為、思い切って購入しました。ハンガリーに来る前に高久さんに連絡をして購入を希望したところ、製作者に連絡を取っていただき、滞在に合わせて楽器を製作していただきました。

編) なぜ今回ハンガリーのテケルーにたどり着いたのですか。

三) 2011 年 6 月、テケルー奏者の高久 圭二郎さんの東京公演コンサートがあり聴きに行きました。その時見たテケルーに、とても衝撃をうけ論文の題材を『テケルー』決定しました。そして高久さんにテケルーの事を聴けば、もっと深く知る事ができるのではないかというから、今年の 7 月にご本人とのやりとりがはじまりました。

編) 実際滞在中にしている事は？

三) テケルーの演奏に関しては、前の質問にも言ったように楽器を購入し、ハンガリー民謡の曲を練習したり高久さんやテケルー楽器製作者でもあり演奏家・教育者でもあるセレーニ・ペーラ氏のレッスンを受けて、技術的な事や楽器の仕組み・歴史などを教えていただいています。それから CD や資料などを、各専門店に行って集めています。

編) 実際ハンガリーに滞在して民族音楽を肌で感じていると思うのですが、どんなところに魅力を感じますか。

三) クラシックとは違う民族的な旋律が素朴で懐かしい感じがしたり、自分自身に、とてもしっくりくる場所などです。ターンツハーズでは初心者でも気軽に参加できる雰囲気ですし、演奏者も時間にとらわれず自由に演奏している為、みんながリラックスして楽しく参加していました。楽器に関しては、テケルー自体が左手で旋律を弾いて右手でリズムを刻み通奏低音が常に鳴っているという一つの楽器が一度に 3 パート担当するという事にも面白みを感じています。しかし実際に演奏してみると、旋律を弾きながらリズムを刻む事が難しく苦戦しています。歌詞を覚えて弾きながら歌う事にも挑戦していますが、慣れないハンガリー語の歌詞を覚える事も難しいですが楽しみながら演奏するように心がけています。

編) 帰国後、今回の滞在体験を論文に向けてまとめていくわけですが、進み具合はどうですか。

三) まだまだ、まとまっていません。現在は、とにかく参考資料を集めているところですので、なるべく多くの情報を収集して、日本に持ち帰ってから徐々にまとめていく予定です。

編) メインテーマ以外の事を質問しますが、今回の長期滞在に関してハンガリーでの生活はどうか。

三) あまり不便を感じた事はありますが、自分の語学力の足りなさを感じています。

例えば、買い物一つにとってもそうですが、すぐに伝える事ができないもどかしさがあります。

もちろん、相手の言っている事が理解できない時も多いので、対応できる語学力があればと感じています。

すぐ傍にドナウ川がある町にいる事も信じられませんが、歴史的建築物が多く町を散策する度に素敵な町だなと感じています。ホテルに宿泊しているわけではないので、地元の方と同じように買い物や自炊、洗濯をしたりと現地の生活を楽しんでいます。

編) 今回は卒業論文という事で来ハンしていますが、卒業後もこういった民族音楽に携わって行く予定ですか。

三) はい、そのつもりでいます。すでに来年はアイルランドに1年間ワーキングホリデーに行く予定になっていて、英語を学びながらアイルランドの民族音楽を学ぶ予定です。

編) そのような体験を得て、将来はどのような職業を目標にしていますか。

三) 民族音楽と固定するわけではなく、音楽にかかわっていける仕事を見つけていきたいと思っています。

その中で、今の経験を活かしていけたらいいなと思います。

編) それは楽しみです、やりたい事が、どんどん広がっていきますね。

※三峯さんのように若い世代が民族音楽というジャンルに関心があるという事に、私は少し驚きを感じていました。彼女の話を知っているうちに、いろいろな感じ方や携わり方があるのだなも新たな発見でした。

さあ次回はどの方に？皆様からのご推薦の方がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい！